Asahi
ASAHI University News Letter

隔月1日発行
July 2015 vol.98

朝日大学
http://www.asahi-u.ac.jp
編集・発行／朝日大学 入試広報室

朝日大学は、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人間的知性に富む人間の育成をめざします。

2016年度 入学者選抜方法決まる

今日、わが国をとりまく社会情勢や環境は日々刻々と変化し、少子高齢化社会の到来をはじめ、東日本大震災など自然災害の復興支援など、依然として厳しい状況下にあります。朝日大学では、これからも教育・研究・医療の質の向上をめざし教職員全員がステークホルダーである高校生や保護者、あるいは地域社会の方々から「信頼される大学づくり」に邁進してまいります。

歯学部5年生が新たな気持ちを胸に登院式で宣誓

Japan Institution for Higher Education Evaluation
JIHEE
since 2004
2009.4－2016.3
大学評価基準を満たす認定マーク

HOT TOPICS

2016年度朝日大学入学試験概要が決まる

4学部5学科を設置する朝日大学の「2016年度入学者選抜試験」では、引き続き各学部の入試制度改革がなされ、「選ばれる大学、魅力ある大学」づくりがより一層進むこととなります。

歯学部では、安心して学べる学費（在学生も適用）の新体系が、保健医療学部では、「看護学科特別奨学金制度」や「看護師奨学金制度」がそれぞれ整えられ、「歯科医師」や「看護師」という夢をかなえるための教育システムや独自の奨学融資制度と学資借入支援奨学金制度も整備され、真の知識と技術、そしてやさしい心を持つ歯科医師と看護師の養成がより一層進むこととなります。

法学部と経営学部では、「学業奨励奨学金」、「スポーツ奨励奨学金」、「会計特別奨学金」、「修学支援奨学金」や「北海道・沖縄特別奨学金」などの充実した支援制度を継続実施することにより、今日のきびしい経済情勢の中、だれもが同じスタートラインに立てるよう対応することとしました。

法学部（法学科）・経営学部（経営学科・ビジネス企画学科）

入試区分			募集人員 法学部 法学科	募集人員 経営学部 経営学科	募集人員 経営学部 ビジネス企画学科	試験日
推薦	指定校		12名	15名	20名	11月1日（日）
推薦	一般Ⅰ期		25名	30名	35名	11月1日（日）
推薦	一般Ⅱ期					12月12日（土）
推薦	スポーツ（A日程）					11月1日（日）
推薦	スポーツ（B日程）					11月2日（月）
AO			12名	10名	15名	11月～2月まで毎月1回
外国人留学生	Ⅰ期		若干名	若干名	若干名	12月12日（土）
外国人留学生	Ⅱ期					2月18日（木）
帰国生徒			若干名	若干名	若干名	12月12日（土）
一般	Ⅰ期	A日程	21名	35名	50名	1月28日（木）
一般	Ⅰ期	B日程				1月29日（金）
一般	Ⅰ期	C日程				1月30日（土）
一般	Ⅱ期					2月18日（木）
大学入試センター試験利用	Ⅰ期		10名	30名	30名	本学独自の個別試験は課さない
大学入試センター試験利用	Ⅱ期					

歯学部（歯学科）

入試区分			募集人員	試験日	
AO	Ⅰ期		10名	(2次選考)10月10日（土）	
AO	Ⅱ期			(2次選考) 3月18日（金）	
推薦	指定校		30名	11月1日（日）	
推薦	一般Ⅰ期			11月1日（日）	
推薦	一般Ⅱ期			11月28日（土）	
外国人留学生			若干名	11月28日（土）	
帰国生徒			若干名	11月28日（土）	
一般	Ⅰ期	A日程	77名	※1月28日（木）	
一般	Ⅰ期	B日程		1月29日（金）	
一般	Ⅰ期	C日程		1月30日（土）	
一般	センタープラス方式			一般Ⅰ期A日程を受験	
一般	Ⅱ期			※2月18日（木）	
一般	Ⅲ期			※3月18日（金）	
大学入試センター試験利用	Ⅰ期		10名	本学個別試験	1月28日（木）
大学入試センター試験利用	Ⅱ期			本学個別試験	2月18日（木）
大学入試センター試験利用	Ⅲ期			本学個別試験	3月18日（金）

※本学ほか、大阪（Ⅰ期A日程・Ⅱ期・Ⅲ期）・福岡（Ⅰ期A日程）試験場を設置

保健医療学部（看護学科）

入試区分			募集人員	試験日
推薦	指定校		30名	11月1日（日）
推薦	一般Ⅰ期			11月1日（日）
推薦	一般Ⅱ期			11月28日（土）
一般	Ⅰ期	A日程	40名	※1月28日（木）
一般	Ⅰ期	B日程		1月29日（金）
一般	Ⅰ期	C日程		1月30日（土）
一般	センタープラス方式			一般Ⅰ期A日程を受験
一般	Ⅱ期		5名	2月18日（木）
大学入試センター試験利用	Ⅰ期		5名	本学独自の個別試験は課さない
大学入試センター試験利用	Ⅱ期			
大学入試センター試験利用	Ⅲ期			

※本学ほか、名古屋試験場を設置

OPEN CAMPUS 2015

保健医療学部 8月1日（土）・9月13日（日） 13:30～16:00
●全体説明会 ●学科説明 ●入試・奨学金説明 ●実習体験

法学部 8月1日（土）・9月13日（日） 13:30～16:00
経営学部 ●全体説明会 ●学部学科説明 ●模擬授業 ●入試・奨学金説明 ●個別相談コーナー

歯学部 7月23日（木）・8月20日（木） 10:00～15:00
模擬講義と実習体験で歯学部生の1日を体験できます。
9月12日（土） 13:00～16:00
AO入試や推薦入試の受験を考えている人のための直前対策講座を実施します。

お問い合わせ／朝日大学 入試広報室 フリーダイヤル 0120-058-327 E-mail nyuusi@alice.asahi-u.ac.jp

学生生活をサポートする奨学支援制度

「歯科医師」という夢をかなえるための教育システムと独自の奨学融資制度。
真の知識と技術、そしてやさしい心を持つ「看護師」の養成が保健医療学部でスタート。
法学部・経営学部では、今日のきびしい経済情勢の中においても「だれもが同じスタートラインに立てるよう」充実した奨学支援制度を整備。
朝日大学は、独自の各種奨学支援制度を整備し、学生生活や生涯研修を万全な体制でサポートしています。
支援制度の詳細については、ホームページ、入試ガイド、学生募集要項などでご確認願います。

歯学部

- 奨学融資制度
- 学資借入支援奨学金制度
- 短期海外研修制度
- 診療費補助制度
- 生涯研修事業（CE）

保健医療学部

- 看護学科特別奨学金制度
- 看護師奨学金制度
- 短期海外研修制度
- 奨学融資制度
- 学資借入支援奨学金制度
- 診療費補助制度

法学部・経営学部

- 学業奨励奨学金制度
- スポーツ奨励奨学金制度
- 修学支援奨学金制度
- 北海道・沖縄特別奨学金制度
- 資格取得支援奨学金制度
- 国際交流支援制度
- 奨学融資制度
- 学資借入支援奨学金制度
- 診療費補助制度

生涯研修を積極的に支援

歯学部同窓会との連携強化

朝日大学歯学部及び明海大学歯学部が共同で実施している歯科医師を対象とした生涯研修事業（CE）は、本年で17年目を迎えました。

2014年度までの受講者数は9,500名を数え、受講者は日本全国各地で地域医療の中心的な役割を担う歯科医師として活躍しています。また、近年は歯学研究科の学生や海外からの受講生を迎えるなど、CEは教育的かつ国際的な医療貢献活動へと発展しています。

多彩なプログラム

本年度は、「クリニカルベーシックセミナー」や「臨床総合医育成コース認定制度」をはじめ、いずれも歯科医師の臨床テクニック向上につながる46コースの多彩なプログラムを予定しており、今後も本事業を通じて、日本や海外の臨床歯科医学の向上に貢献していくこととなります。

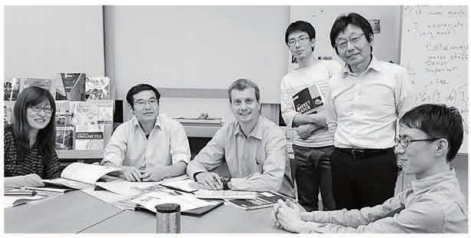
CE [Continuing Dental Education]
臨床歯科医学向上のための生涯を通じた研修活動
詳細は URL：http://m-a-univ-ce.com　E-mail：info@m-a-univ-ce.com

地域社会連携講座で英会話を学ぶ

穂積キャンパス6号館ELS（English Language Salon）で、社会人を対象とした「2015年度朝日大学地域社会連携講座」がスタートしました。同講座の講義はすべて英語で行われ、瑞穂市内などで勤務する受講者らは緊張した雰囲気の中さっそく90分レッスンを受講しました。

インターナショナルな職業人をめざす

今回開講されたプログラム「英語圏の外国人との共存・共生のための実践ビジネス英会話」は、建学の精神（国際未来社会を切り開く人材育成）に基づき、インターナショナルな職業人として職場での日常業務や海外の顧客らとの会話で必要となる英会話能力を身に付けることを目的に初級と中級コースが開講されています。

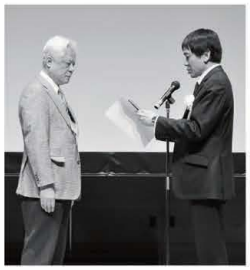


「自己紹介を英語で」からスタート

TOPICS

学術・研究活動が評価される

日本歯科理工学会「功績賞」受賞


山内先生が「功績賞」を受賞

第65回日本歯科理工学会春季学術講演会において、歯学部（歯科補綴学分野）の山内　六男先生が、日本歯科理工学会「功績賞」を受賞しました。

今回の受賞は、30年以上にわたる同学会における活動や功績が高く評価されたもので、春季学術講演会において米山隆之理事長から山内先生に「功績賞」が授与されました。

日本歯科理工学会「優秀ポスター賞」受賞

第64回日本歯科理工学会学術講演会において、歯学部（歯科保存学分野）の神山　智佳子先生（非常勤講師）が発表した「α-TCP/Te-CPセメントの根管充填用シーラーへの応用　－セメント硬化体のpH挙動、XRD、SEMおよび色素浸透性－」が「優秀ポスター賞」を受賞しました。

日本歯科理工学会学術講

神山先生が「優秀ポスター賞」を受賞

本研究は歯内療法学と歯科理工学の共同研究として生体材料の根管治療への応用を検討する目的で行われ、臨床的有用性が明らかとなりその成果が高く評価されたものです。今後の臨床応用が大いに期待されます。

「さくらサイエンスプラン」に採択

朝日大学は、独立行政法人科学技術振興機構が行う「日本・アジア青少年サイエンス交流事業－さくらサイエンスプラン－」に採択されました。

本学歯学部では、北京大学口腔医学院から毎年優秀な歯学部学生を受け入れ、最先端の歯科医療を学ぶ「短期海外研修」を行っており、今回この受入れ事業が同プランに採択されました。

日本の最先端技術を紹介

「さくらサイエンスプラン」とは、日本とアジアの科学技術の発展と青少年の交流を目的とし、日本の科学技術分野の最先端技術を紹介するために優秀なアジアの青少年を短期的に招へいしている大学や企業・団体等への支援を同機構が行うプロジェクトです。

北京大学口腔医学院の学生らが熱心に学ぶ

White Coat Ceremony 2015

歯学部登院式を実施

歯学部5年生の登院式（白衣授与式）が、学生の父母も参加し穂積キャンパス6号館大講義室で盛大に行われました。この登院式は、歯学部5年生が本学附属病院で参加型臨床実習を始めるにあたり、本格的な実習教育への第一歩を踏み出す節目として毎年この時期に実施されています。

登院式では、はじめに全員で学歌を斉唱。磯﨑篤則歯学部長からの告辞に引き続き、倉知正和副学長、田村康夫副学長、都尾元宣附属病院長、永原國央教務学生委員長らが白衣を代表学生に授与、学生たちは登院式を迎え歯科医師を志す気持ちを新たにしていました。

医療人としての決意表明

その後、学生代表の香西慎一さんから「医療人としての自覚を持ち、真摯に実習に取り組みます」との決意があり、田村副学長らから学生に対して激励の言葉が述べられました。

登院式を終え記念撮影

法学部に4名の教員が着任

1987年4月に開設し29年目を迎える法学部に、4名の教員が新たに加わりました。

左から下條先生、小林先生、中野先生、片山先生

法学部では弁護士をはじめ、パラリーガルと呼ばれる司法書士・行政書士、さらには警察官・消防士、国家公務員・地方公務員のほか、様々な民間企業への就職を希望する学生たちを全面的にサポートし、「建学の精神」の具現化に向けて力強く歩み続けて行くこととなります。

新任の先生が抱負を語る

○下條　芳明　教授（憲法）
「岐阜で生まれ、岐阜で育ち、岐阜に戻ってこられて本当によかった。これからは、朝日大学のために頑張りたい」

○小林　祐紀　講師（憲法）
「最初は学生と間違われたが、最近は徐々に朝日大学に慣れてきた。これから法学部のために頑張りたい」

○中野 万葉子　講師（民法）
「ドイツで6年間学んだ経験を生かして、法学部のために力を発揮したい」

○片山　和則　講師（政治学）
「公務員対策など教育面で力を入れると共に、研究面でも博士号取得をめざして頑張りたい」

「社会スタディ」で優秀証

経営学部経営情報学科3年の高西 祥ニコールさん（沖縄県出身）と古堅 智仁さん（沖縄県出身）が、私立大学情報教育協会主催の産学連携事業「社会スタディ」に参加しました。

この「社会スタディ」は、次代を担う若者に、「地球温暖化、環境問題など現代社会が抱える課題を解決するために自ら新たな成長分野を創り出し、チャレンジすることの重要性に気づかせる」ことを期待し開催されたものです。

高西 祥ニコールさんが提出した小論文は、未来を切り拓いていく志、目標、意欲の高さがうかがえる優れた論文内容であると評価され、同協会より「優秀証」が授与されました。

両学生の今後の成長や実社会での活躍が期待されます。

「マーケティング実践講座」

マーケティング研究所は、岐阜県高等学校商業校長会及び岐阜県商業教育研究会との共催により「マーケティング実践講座」を開催しました。

本講座は、「マーケティング指導者養成講座－アクティブラーニング（実践的・体験的学習）の推進をめざして－」をテーマにかかげ毎月1回開催され、県内の商業科教諭のマーケティングに関する授業力や実践力の向上をめざします。

アクティブラーニングを体験

第1回目の講座「マーケティングの基本と課題演習」では、商業科教諭と本学学生とがグループ演習を行い、環境分析、消費者心理の考え方、競争戦略などについてアクティブラーニングを通じ熱心に学びました。

アクティブラーニングを体験

「フロンティアセミナー」開催

穂積キャンパス1号館講義室において、瑞穂市とその周辺地域にある大垣共立銀行5支店が主催する「第28回フロンティアセミナー」が本学協賛のもと開催され、歯学部の硲 哲崇教授が講師を務めました。

本セミナーは、大垣共立銀行が進める地域活性化事業の一環として実施されている催事で、本学は「大学の知的財産」を地域社会に還元することを目的として、第1回から協賛しています。

「摂食行動を科学する」と題した講演では、硲先生は食わず嫌いや好き嫌いのメカニズムをわかりやすく説明、地域住民ら約90名は熱心に摂食行動について学びました。

虫歯予防のポスター展

「歯と口の健康週間」イベント開催

歯学部附属病院及び附属村上記念病院では、「歯と口の健康週間（6月4日～10日）」に合わせ歯と口の健康を呼びかける活動を実施しています。

穂積キャンパス内の附属病院では、瑞穂市内の小学校7校からポスターを募集し、恒例となっている「歯と口の健康を呼びかけるポスター展」を開催しました。

虫歯予防のメッセージ

小学生の描いたポスターには、口を大きく開け健康的な歯がそろった絵や、「毎日歯をみがこう」と虫歯予防などを呼びかけるメッセージが添えられた絵など、カラフルな色彩に児童の感性豊かな表現方法がちりばめられていました。

小学生のポスターはどれも力作ぞろい

エコプロジェクト「Cool Biz」

朝日大学では2009年度から大友克之学長のもと、建学の精神に基づき全学で「エコキャンパスプロジェクト（地球温暖化防止策）」を展開しています。

4年前の東日本大震災をきっかけに、全国規模での省エネルギー対策が求められていることから、2015年度エコプロジェクト「省エネルギー対策実施項目」を策定し、教職員・学生が一丸となり省エネルギー対策に取り組んでいます。

EVENT

留学生歓迎パーティー

海外から留学生を迎える

留学生別科日本語研修課程（4月入学生）の歓迎パーティーが7号館ホール「花水木」で開催されました。パーティーでは、大友克之学長、丸山和美別科長をはじめとして教職員が新入生たちをあたたかく迎え、乾杯の発声後には皆にこやかな表情で楽しく歓談していました。

ベトナム、中国、ネパールからの今春の新入生23名はこれからの1年間、学部・大学院への進学をめざして日本語や日本文化を中心に学習することとなります。

総合オリエンテーション

留学生を対象とした総合オリエンテーションが実施されました。オリエンテーションでは、交通事故防止や防火の講習、国民健康保険制度の解説など留学生活を送るための各種アドバイスや説明が行われ、留学生たちは日本のルールなどを熱心に学びました。

瑞穂消防署員から消火器の使用方法を学ぶ

彼らが将来日本と諸外国との架け橋に、また、「国際未来社会」を切り開く人材へと育つことが切に願われます。

めざせ東京オリンピック 強化指定チーム決定!!

体育会のクラブが「2015年度強化指定クラブ」として岐阜県競技力向上対策本部から認定されました。

強化指定クラブ	対　象
ホッケー部	成年男子
自転車競技部	成年男子
ハンドボール部	成年男子
卓球部	成年男子・女子
ラグビー部	成年男子
フェンシング部	成年男子・女子
相撲部	成年男子
ボウリングチーム（ブルーフラッシュ）	成年男子・女子

2005年度に始まった強化指定制度は、ぎふ清流国体で実を結び「天皇杯・皇后杯」の獲得をはたしました。岐阜県では、東京オリンピックや国民体育大会に向け選手強化をめざすと共に、日本代表として世界で戦うアスリートを輩出するため、強化指定制度が継続実施されています。

競技力の向上をめざす

岐阜県庁内で「競技力強化指定証」の交付を受けた体育会各クラブは、今秋開催の和歌山国体での活躍、トップアスリート輩出に向け競技力向上をめざします。

新入生研修会で先輩と交流

穂積キャンパス6号館で保健医療学部看護学科の「新入生研修会」が開催されました。

研修会は、新入生の不安や悩みを少しでも解消し、自分のめざす看護師像を描いてもらうことを目的に開催。新入生は先輩学生らと共にアドバイザー教員との懇談、「目で見る国際看護」の視聴、ランチ&懇談、グループワークなどのセッションに取り組みました。

アドバイザー教員を配置

新入生たちが教員や先輩とランチ＆懇談

看護学科では、アドバイザー教員が配置されており学生たちは様々な相談をすることができます。今回のアドバイザー教員との懇談では、自己紹介が行われると共に、先輩学生からの一言アドバイスが語られました。

緊張している1年生に優しく語りかける2年生の先輩の頼もしさ、成長が確認できる「新入生研修会」となりました。

「沖縄県人会」開催

沖縄県人会の第3回総会が穂積キャンパス6号館食堂で開催され、約60名の新入生が入会した総会には、沖縄県出身学生や教職員ら約150名が出席しました。

学生たちが「エイサー」を披露

同会では、はじめに大野 正博学生部長から、歓迎の言葉と県人会の趣旨や今後の活動方針などが述べられました。その後、沖縄の方言で自己紹介をしてもらったり「エイサー」の演舞が披露されたりと、終始なごやかな雰囲気で会員同士の親睦を深めていました。

義援金募金活動を展開

学生たちが募金活動を実施

この度のネパール連邦民主共和国における大地震に遭われた方々に対し、心からお見舞い申し上げます。

朝日大学では、同国から多くの優秀な留学生を受け入れており、本学の学生たちから同国復興の力になりたいとの要望が数多く寄せられました。

これを受けネパール人留学生や法学部防犯ボランティア「めぐる」の学生らが中心となり、穂積キャンパス、PDI岐阜歯科診療所、村上記念病院内に募金箱を設置し義援金の募金活動を実施しました。

善意の義援金（150,117円）は日本赤十字社を通じて、被災地や本学の被災学生（家族や家屋が被災）に贈られることとなります。

SPORTS

テニス
国際大会の運営に参画

国内有数の国際大会として位置づけられ、今回で26回目となる「カンガルーカップ国際女子オープンテニス2015」が長良川テニスプラザ（岐阜市）で開催されました。

今大会では、体育会と歯学部の硬式庭球部部員らがスタッフとして大会運営に参画。ボーラーとしての部員たちの活躍は主催者から高く評価され、質の高い国際大会運営の一助となりました。

大友学長とボーラーとして活躍した硬式庭球部部員たち

自転車競技
全日本「準V」、全日本学生「アベックV」!

体育会自転車競技部は、トップレベルのプロ・アマが集う国内最高峰レース「第84回全日本選手権大会」（静岡県日本CSC）に出場。チームスプリント、4km団体追抜競走（岐阜県選抜チーム）、スクラッチレースの3種目で準優勝の好成績を収めました。

また、滋賀県東近江市で開催された「第17回全日本学生選手権クリテリウム大会」では、初となる「男女アベック優勝（男子：ビジネス企画4年秋田拓麿、女子：同3年宮田菜摘）」に輝きました。

西日本選手権：4km団体追抜競走で優勝

西日本選手権では優勝ラッシュ

「第35回西日本学生選手権大会」（大阪府岸和田競輪場）では、4km団体追抜競走とチームスプリント競技で他大学チームを圧倒し優勝。同種目を含め男女11種目で争われた同大会では、ほかにスプリント、1kmTT、ケイリン、3kmIP、4kmIP、スクラッチレースなど計8種目で優勝をはたすと共に、合計で36の入賞数となり大いに大会を盛り上げました。

フェンシング
関西学生リーグ男女「総合準V」

体育会フェンシング部は「第65回関西学生リーグ戦」（4月～5月）で、男子が「エペ」優勝、「フルーレ・サーブル」準優勝の成績を、また、女子は「サーブル・エペ」準優勝、「フルーレ」3位の成績で、男女共に「総合準優勝」の成績を収めました。

関西リーグで好成績のフェンシング部は、男女共に「全日本学生王座決定戦」（京都大山崎体育館）への出場資格を獲得することとなりました。

会計研究部
「公認会計士試験」4名合格

「平成27年度公認会計士第Ⅱ回短答式試験」に4名の学生が合格しました。

本学では、商業教育の推進をめざし岐阜県高等学校商業校長会と連携協定を締結、高校と大学の7年間で公認会計士試験に挑戦し合格できるよう、2012年度から経営学部で高度な会計教育をスタート。今回の合格者を含めこれまでに短答式試験に15名が合格をはたしており、今後社会に貢献できる人材を育成していきます。

硬式野球
藤田監督を迎える

体育会硬式野球部では春季リーグを終え、新たに藤田 明宏講師（教職課程センター）を監督に迎えることとなりました。

藤田監督は、名門の岐阜県立岐阜商業高校野球部の元監督で、甲子園4強の実績を有し、本年4月に教職課程センターに着任しました。

また、前監督の林 卓史講師（経営学部）は副部長に就任し、部員たちの学修面や就職等のサポート支援を行うこととなります。

卓球
日本卓球リーグ

日本リーグホームマッチゲームを開催

「東海学生春季リーグ」で準優勝を収めた体育会卓球部（男子）は、日本卓球リーグに加盟、1部リーグで大学チームとして活躍しています。

このたび2015年度前期リーグのホームマッチゲームを、前年度同リーグ準優勝の強豪チーム「協和発酵キリン」（本社:東京都　医療用薬品の製造・販売企業）を迎え、穂積キャンパス体育館で開催しました。

キャンパス内で熱戦が繰り広げられる

試合当日は、国内トップレベルの対戦をこの目で見ようと地元小中学生をはじめ数多くのサポーター（観戦者）が訪れ、ポイントが入るたびに感嘆の声やチーム応援の歓声で大いに盛り上がり、試合会場は終始熱気につつまれていました。

試合は、実力に勝る協和発酵キリンの勝利となりましたが、体育会卓球部、そして「東海学生春季リーグ（女子）」を制した女子チームの今後の活躍に期待がかかります。

2014年度 事業報告及び決算

2014年度学校法人朝日大学事業報告及び決算が5月28日（木）開催の理事会と評議員会において全会一致で承認されました。
2014年度事業報告及び決算は以下のとおりです。

事業報告

Ⅰ　教育・研究活動の質の向上

法･経営学部では、社会･時代の要請に応じたきめ細かい指導を行うことにより、経営学部においては「公認会計士試験」に在学生2名の合格者を輩出することができました。

歯学部では、「高度な臨床能力を身につけた歯科医師」養成のため、臨床教育の強化をはかりました。

2014年度開設の保健医療学部看護学科では、設置認可申請計画を着実に実行することができました。

また、教職員の資質向上をはかることで、学会や各種研修会への積極的な参加、他大学や教育機関などから優秀な講師を招き研鑽に努めるなど、FD及びSD活動に積極的に取り組みました。

Ⅱ　学生支援対策

学生生活の充実や将来の夢の実現をサポートするため、各種奨学金制度による経済的支援や海外研修費用の一部負担、体育会では国内トップレベルの指導者の配置や充実した施設･設備を整え、多様な学生のニーズに合うよう充実した学生支援活動に取り組みました。

就職支援では、企業説明会の開催、協力企業を対象とした「講演と懇親の会」や「就職セミナー」の開催、就職対策講座の開催、個人面談の実施、インターンシップなど、学生に対して個別の就職指導を徹底して行うことで、97.5%の高い就職率を維持することができ、8年連続95%以上の就職率を達成しました。

Ⅲ　活発な国際交流の継続

国際未来社会で活躍し得る学生を育成するため、2014年度も歯学部は、米国、メキシコ、中国、イタリア、フィンランドの5か国(8大学)との間で、学生の短期海外研修派遣による相互交流を実施しました。また、新たに南アフリカのウェスタンケープ大学との連携に向け大学間交流をスタートしました。

法学部･経営学部では、例年実施しているUCLA語学研修のほか、2014年度から初めての試みとなるベトナム･ホーチミン市での海外短期研修を実施し、学生たちは日系企業への視察に加え現地の学生らとの充実した交流を行いました。

Ⅳ　地域社会、ステークホールダー等への貢献及び連携

瑞穂市をはじめ、岐阜市や美濃加茂市等における公開講座の開催や、市民相談室、社会人向け英会話講座等を通じ地域社会や住民の皆様へ、「大学の知的財産」の提供を行いました。

また、教育に係る地域連携等の観点から、高校への出張講座、英語教育の推進をはかるための英語弁論大会の開催、岐阜県弁護士会との協力のもと法教育に関するシンポジウムや地元中学生を対象としたジュニアロースクールを開講し、地域社会との緊密な連携をはかると共に、2014年度には、新たに朝日大学地域社会連携センターを設置しました。

Ⅴ　生涯教育の強化

本学では、明海大学、UCLAと連携し生涯研修センターにおいて、高度な専門知識と技術を持つ総合臨床歯科医師養成のための実践的･体系的な基礎的臨床教育、実践的臨床教育、高度専門的臨床教育プログラムに基づき、歯科医師の生涯研修事業を実施し臨床歯科医学の向上に貢献しました。なお、2014年度は全61プログラムを開講し延べ1,368名の受講者を受入れました。

これまでに受講した本学卒業生らは、日本全国各地で地域医療の中心的な役割を担う歯科医師として活躍しています。

Ⅵ　施設・設備の充実

2014年度は講義室を中心とした教育施設･設備の整備工事のほか、教育･研究機器の更新等も順次進め、教育･研究環境の整備をはかりました。

歯学部では、臨床系第2実習室に窩洞形成、支台歯形成等の評価システムを導入しました。また、バイテク棟では、透過型電子顕微鏡、エネルギー分散型X線分析装置の更新を行いました。

図書館においては、新しい「個人学修スペース」を整備し、SurfacePro3(Windowsタブレット)を備えた個別閲覧席を設置することにより学修環境を整えました。

Ⅶ　法人運営の基盤強化

教育･研究及び医療という本学本来の業務をより充実したものとするため、学納金や医療収入の安定的かつ着実な確保に加え、資産運用及び収益事業で得た収益を一般会計に繰入れ、教育･研究及び医療のさらなる充実をはかりました。

第44期決算報告書（2014年度）

資金収支計算書

単位：円

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金収入	4,160,631,900	人件費支出	7,842,047,875
手数料収入	53,475,068	教育研究経費支出	6,099,933,342
寄付金収入	6,650,000	教育研究経費支出	2,277,854,632
補助金収入	897,147,000	医療経費支出	3,822,078,710
資産運用収入	5,392,918,256	管理経費支出	604,116,902
資産売却収入	15,293,111,773	施設関係支出	184,308,648
事業収入	345,784,933	設備関係支出	382,115,526
医療収入	9,153,639,215	資産運用支出	37,128,415,606
雑収入	226,346,966	その他の支出	8,391,569,571
前受金収入	605,753,000		
その他の収入	21,054,707,390		
資金収入調整勘定	△ 4,276,721,712	資金支出調整勘定	△ 1,031,044,124
前年度繰越支払資金	11,249,038,801	次年度繰越支払資金	4,561,019,244
収入の部合計	64,162,482,590	支出の部合計	64,162,482,590

消費収支計算書

単位：円

消費収入の部		消費支出の部	
学生生徒等納付金	4,160,631,900	人件費	7,645,569,960
手数料	53,475,068	教育研究経費	7,037,372,541
寄付金	31,023,236	教育研究経費	3,012,950,933
補助金	897,147,000	医療経費	4,024,421,608
資産運用収入	5,392,918,256	管理経費	611,940,892
資産売却差額	1,304,200,048	資産処分差額	147,201,521
事業収入	345,784,933	徴収不能額	7,245,377
医療収入	9,153,638,215	徴収不能引当金繰入額	9,466,000
雑収入	226,346,966		
帰属収入合計	21,565,165,622		
基本金組入額	△ 9,561,300,549		
消費収入の部合計	12,003,865,073	消費支出の部合計	15,458,796,291
		当年度消費収入超過額	△ 3,454,931,218
		前年度繰越消費収入超過額	3,145,316,015
		翌年度繰越消費収入超過額	△ 309,615,203

貸借対照表

2015年3月31日　単位：円

資産の部		負債の部	
固定資産	147,322,362,876	固定負債	4,294,850,058
有形固定資産	25,706,418,169	退職給与引当金	4,294,850,058
土地	11,433,876,271	流動負債	1,792,542,277
建物	9,114,414,047	未払金	1,055,554,868
構築物	323,353,309	前受金	616,734,100
教研機器	1,516,898,100	預り金	120,253,309
その他機器	43,454,035	負債の部合計	6,087,392,335
図書	3,213,655,600		
その他	60,766,807		
その他固定資産	121,615,944,707		
有価証券	10,595,509,591	基本金の部	
収益事業元入金	2,006,717,644	第１号基本金	44,247,438,595
第２号基本金引当資産	15,000,000,000	第２号基本金	15,000,000,000
第３号基本金引当資産	89,607,500,000	第３号基本金	89,607,500,000
退職給与引当特定資産	4,294,850,058	第４号基本金	1,000,000,000
その他	111,367,414	基本金の部合計	149,854,938,595
流動資産	8,310,352,851		
現金・預金	4,561,019,244		
未収入金	3,562,866,711		
貯蔵品	135,745,226	消費収支差額の部	
短期貸付金	3,947,722	翌年度繰越消費収入超過額	△ 309,615,203
その他	46,773,948	消費収支差額の部合計	△ 309,615,203
資産の部合計	155,632,715,727	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	155,632,715,727

※詳細は、本学webサイト（http://www.asahi-u.ac.jp/inf/f_jigyou.html）をご覧ください。